

# 簡単片手キーボードP350L取扱説明書

2021/02/27 改訂



**重要** この製品のシリアル番号：

最初にご確認下さい。	セ ッ ト 内 容	簡単片手キーボードP350L本体・・・・・・・・1台 片手キーボードサポートCD-ROM・・・・・・・・1枚 片手キーボード取扱説明書（本書）・・・・・・・・1冊 プログラマブルテンキー取扱説明書・・・・・・・・1冊 ドライバーソフトCD-ROM・・・・・・・・1枚 キートップカバー取外し治具・・・・・・・・1個
------------	-----------------------	--

プログラマブルテンキーのドライバーは、既に日本語入力に最適なキー配置で登録してあるので特に必要としません。但し、標準のキー配置を自分で変更したい場合は、プログラマブルテンキーに添付されているCD-ROM内のドライバーソフトをインストールしてご利用ください。本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は上記販売店のHPに掲載しています。

## はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品をご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読み下さい。

## 動作環境

---

対応機種・OS：

Windows搭載 (DOS/V) パソコン Windows10, 8.1, 7, Vista, XP (SP1以降)  
Android Version 6.0以降搭載のタブレット端末、スマホ (OTG接続のできるもの)  
MicroUSB を搭載の機種では、変換アダプタ (他社別売) を経由して接続して下さい。

## 本製品の特長

---

本製品は、サンワサプライ株式会社のプログラブルテンキーNT-19UH2BK に、独自の日本語入力解析に基づき、片手で日本語を入力する操作の最適化を図ったキー配置と辞書登録データとのセット商品です。  
QWERTYキー配列に準じたキー配置なので、従来の標準型両手キーボードを使用していた方には馴染み易く、ブラインドタッチも可能です。  
主として右手を中心に操作される方向けにキー配置してありますが、左右どちらでも使用可能です。  
本製品を両手で操作すると、超省スペースの日本語入力キーボードとして、持ち運び用に重宝します。  
キー数は少ないが、辞書機能と併用しているので殆どの文字、記号の入力もできます。  
キーボードの入力可能文字群は3つのモードを持っています。このモード状態を、「赤」「緑」「黒」のLEDで表示されます。

「赤」モード：アルファベット入力、日本語入力用文字群

「緑」モード：テンキー入力 (半角数値&演算記号類)

「黒」モード：カーソルキー、画面制御機能キー

「赤」モードのみで殆どの日本語入力が出来ます。

キー配置設定済のキーボードですから、接続して辞書登録ファイルを読み込むだけで直ぐ使えます。

接続は、USBポートに差し込むだけ。(スマホやタブレット端末でマイクロUSBポートの場合は変換アダプタを経由して下さい。)

キートップのカバーが外れるので、自分の好みのキートップの表示に変える事もできます。

カードリーダーやUSBメモリーの接続に便利なUSBポートが2つ内蔵しています。

## 取扱上のご注意

---

本製品に付属していますサンワサプライ株式会社の「プログラブルテンキー取扱説明書」の「取扱上のご注意」もご一読下さい。

## 接続の手順

---

コンピュータの電源を入れます。Windows等のOSが完全に起動してから、本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。本製品をコンピュータのUSBポートに接続すると自動的に認識されます。(Windowsの場合) タスクトレイ (デスクトップの右下) に接続完了のメッセージが表示されます。以上で接続完了です。

## ユーザ定義辞書の登録

---

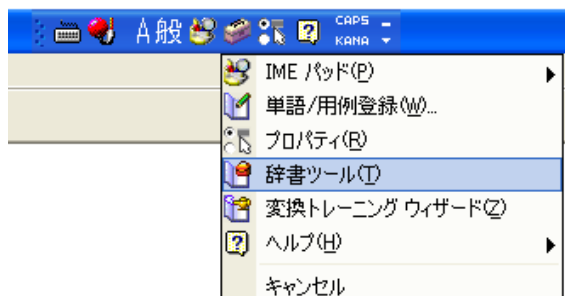
本製品では、OSの辞書機能を利用してあまり使用頻度の高くない記号等を入力します。この為、最初に一度だけ付属のCD-ROMから辞書登録を行う必要があります。OSにより辞書登録方法が異なるので、次の手順で行って下さい。

**Windowsの場合** (Windows10, 8.1, 7, Vista, XP等で多少画面は異なりますが、基本的には同じ操作で登録できます。)

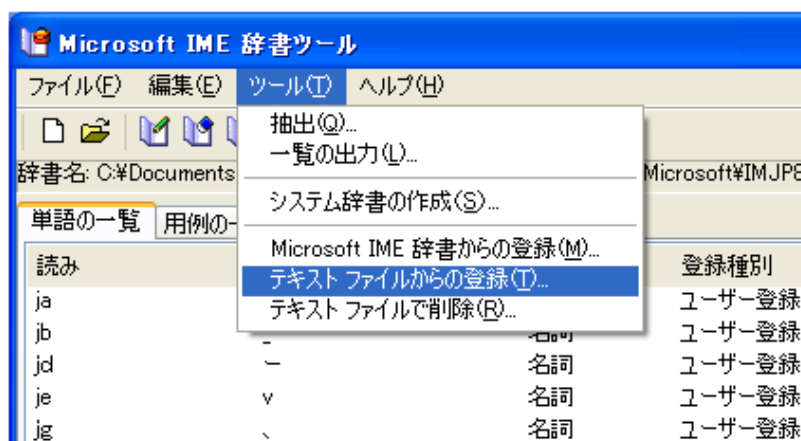
OSが完全に起動して、上記接続の手順により本製品を接続してから、付属の「サポートCD-ROM」をCD-ROMを読み込むドライブに挿入して下さい。

CD-ROM等のドライブが無いタブレット端末やスマホの場合は、販売店のホームページから該当の辞書ファイルをダウンロードしてUSBメモリーか内部メモリーに一旦記録してここから登録して下さい。)

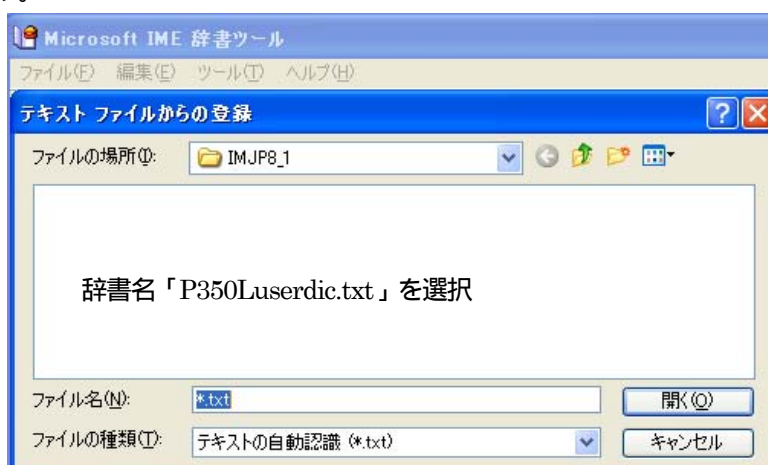
WindowsのIMEツールバーから「辞書ツール」を選択してクリックします。



表示される「Microsoft IME 辞書ツール」の「ツール」から「テキストファイルからの登録(T)」を選択しクリックします。



テキストファイルからの登録のダイアログで、挿入したCD-ROM又はUSBメモリー内の辞書ファイルを指定して「開く」をクリックします。



辞書ファイルが読み込まれ、登録が完了します。ダイアログを閉じて、CD-ROM等を取り外して下さい。これで辞書機能を利用した文字、記号の入力が出来るようになります。

具体的な文字毎の入力操作(キーの押打順序)は別紙「P350L文字入力のキー操作」を参照して下さい。

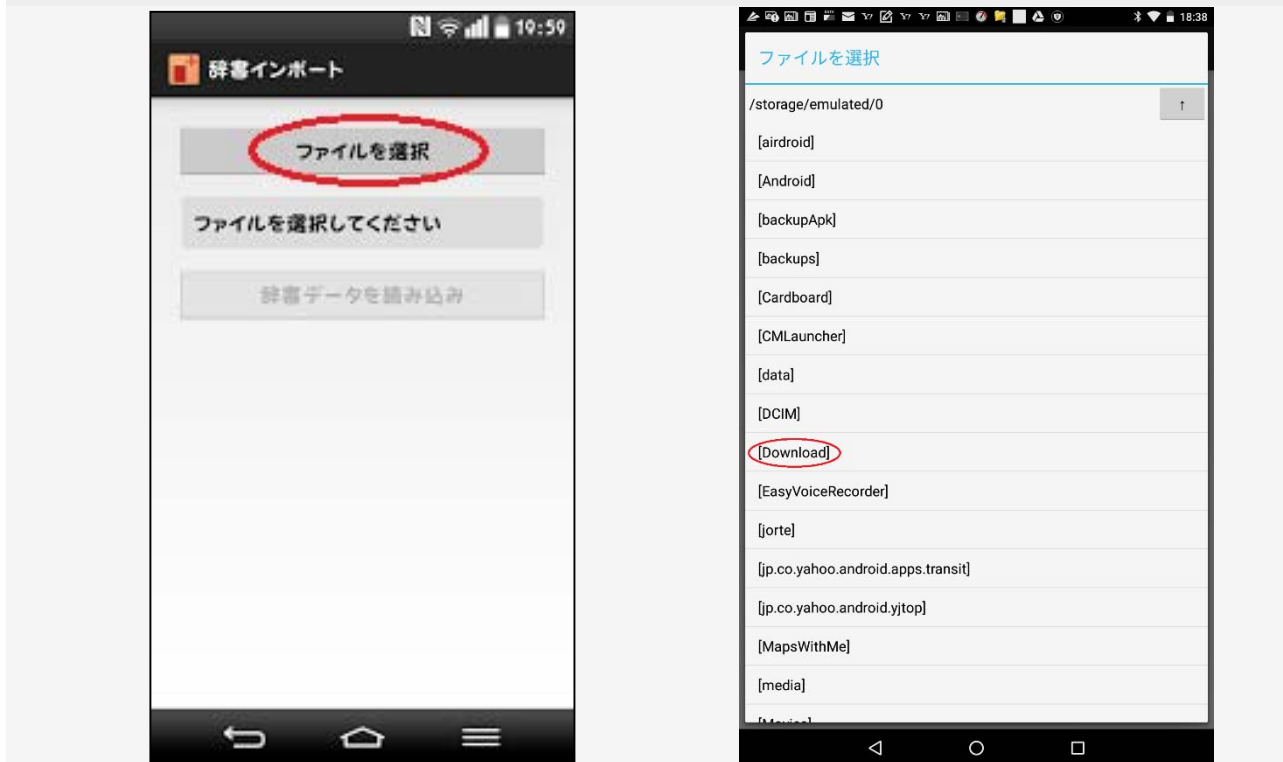
## Android の場合 (Version 6.0 以降)

Android 端末において Play ストアで「辞書インポート(DicImportTool.apk)」というアプリを探してインストールしておく。

販売店のホームページ (<http://www.npo-pico.com/>) から辞書ファイル (P350Luserdic.txt) をダウンロードして端末内の適当なフォルダに置く。(例えば「Download」フォルダ) 「辞書インポート」アプリのアイコン (右図) をタップしてアプリを起動する。

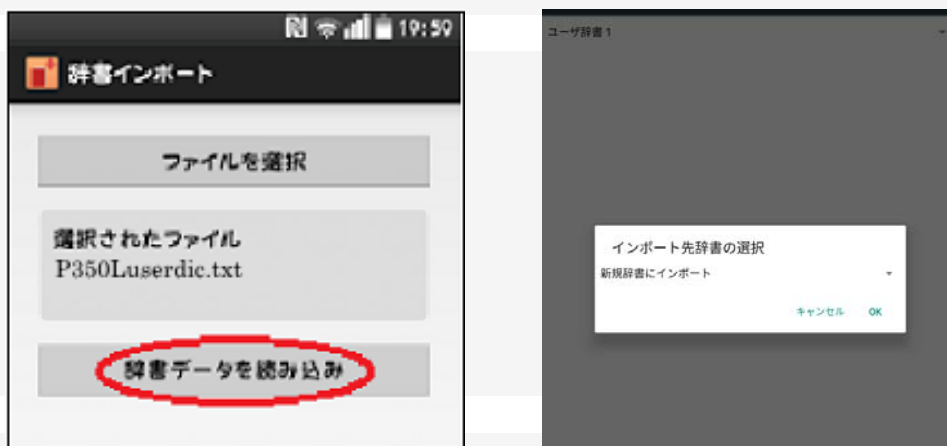


下図左の画面において「ファイルを選択」ボタンをタップすると、下図右のように端末のフォルダが表示される



辞書ファイルを置いたフォルダ (例えば「Download」フォルダ) をタップし、登録したい辞書ファイル (P350Luserdic.txt) を選択する。

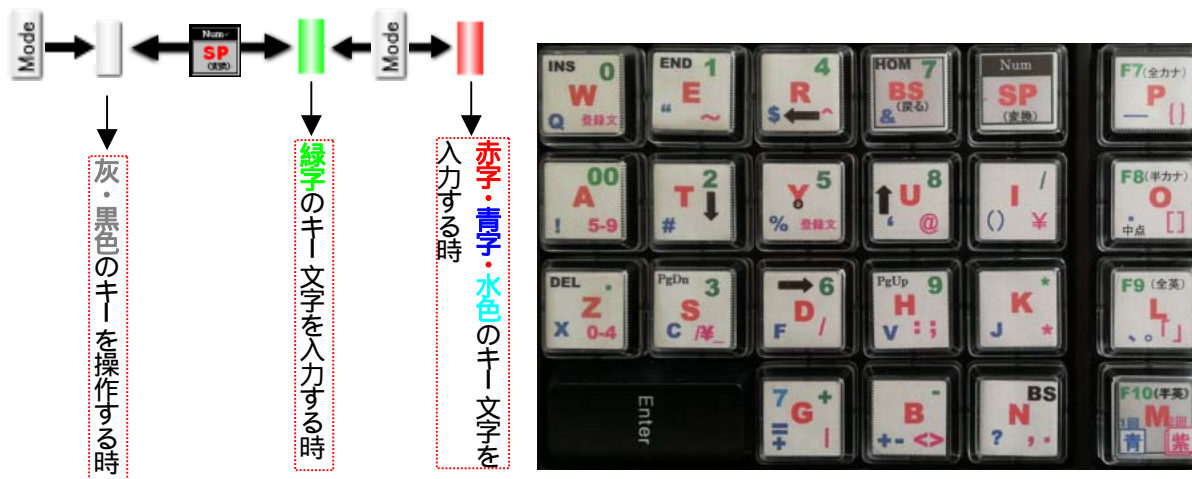
下図左のごとく「選択したファイル」にファイル名が表示されるので、「辞書データを読み込み」ボタンをタップする。




上図右の画面で「インポート先辞書の選択」を行い、「OK」ボタンをタップする。以上で辞書登録が完了です。

## P - 3 5 0 L のキー配置と入力操作の基本

P 3 0 0 L のモードスイッチとキー配置は次の通りです。入力文字種は Mode スイッチによって切替えられます。



モードランプが「白（無点灯）」の時は、 キーを押すと、「緑」になります。

モードランプが「緑」又は「赤」の時  「モードスイッチ」を押すと交互に切り替わります。

モードランプの色と、キートップの文字の色は一致しています。 即ち、「赤」の文字を入力したい時は、モードランプを「赤」になる様に、「緑」の文字を入力したい時には、モードランプを「緑」にセットしておきます。

「青色」、「紫色」の文字は、辞書を使います。 辞書はモードランプ「赤」の時有効です。

「青色」の文字は、を 1 回、「紫色」の文字は「辞書」を 2 回押してから、目的のキーを押し、続いて

 (変換) 最後に  (確定) のキーを押します。

### 【辞書の補正登録について】

お使いの PC やタブレット巻末で、PC の使用履歴や辞書ファイルの同義語登録等の状況などにより、「簡単片手キーボード」のキートップに表示する手順で入力しても一部には目的とした文字が出現しない場合があるかも知れません。このような場合には、該当する文字についてのみ、下記の手順で辞書の再登録(確認登録)を行うことをお勧めします。

ご使用の PC に正規のキーボードと「簡単片手キーボード」の両方を接続する。


PC の入力条件を「ローマ字入力」、文字を「ひらかな」にセットしておく。

PC の「辞書登録」を開く。

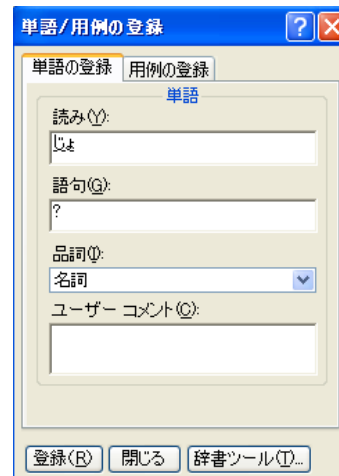
正規キーボードから出現したい文字(例 ?)を「語句」の欄へ入力する。

該当の「簡単片手キーボード」からキートップの表示に従い入力する。

(例 ? の入力の場合のキー入力時は  のみを押す。変換や確定はしない)

辞書登録の  のボタンを押す。

これで、1 件終了です。 必要組の再登録を行って下さい。







## 日本語入力操作の方法

実際のアプリケーション（例えばメールなど）の日本語入力モードに入ります。  
OSの入力モードは「ひらかな」、「ローマ字かな入力」にセットしておきます。




Mode スイッチは「赤」にして下さい。



キー配列は、QWERTYに準じて配置してあります。かな漢字変換で入力してください。  
文字毎のキー押打順は、別紙「P350L文字入力のキー操作」を見て下さい。

文節毎に適宜  (変換)  (確定) キーを押して入力を進めて下さい。


## 日本語入力中の少量の数字、演算記号、アルファベットの入力操作の方法

連続した数値の入力は、 緑モードの方が便利ですが、「1枚」とか少量の数字を入力をする為に Mode スイッチを切り替えるのも面倒ですから、次の打鍵で入力出来ます。



辞書ボタン  を押した後で、目的のキー  「1」を2回押す。出てきた候補（半角・全角）から必要な書体を選択して確定ボタンを押す。  
同様に、赤字のアルファベットも入力出来ます。

## 半角・全角記号、その他の特殊文字の入力操作方法

記号及び特殊文字は、キートップでは「青色」又は「桃色」で割り付けてあります。これは  (辞書キー) を押した後で目的の記号文字のキーを押すと入力できます。

### 青色の文字・記号の場合



(1回)

半角の%, 全角の%が表示されるので必要な書体を選んで確定する。

## 桃色の文字・記号の場合



## 通常セットで使う半角・全角記号、その他の特殊文字の入力操作方法

通常セットで使う事の多い記号 ( ) < > , 「 」 [ ] { } 等は単独の他に一組にしても登録してあります。セットで入力した後でその記号の中に文字を入力する場合に使います。必要な書体を選んで確定して下さい。



## 数字、数字記号の一般的な入力操作の方法

OSの入力モードを「直接入力(半角英数字)」にセットします。(ひらがなの場合でもOKの場合もあります。) モードスイッチを押して、モードランプを「緑」にすると、「緑色グループ」の数値、数値記号(\* / . + -)の入力できます。

半角数字の入力は Mode スイッチを 緑にする。



入力可能な文字、記号は次の通りです。 1,2,3,4,5,6,7,8,9,0,00,/,\* ,ピリオド ,-,+

## カーソルキー、機能キー (BS,DEL,Ins) の操作方法

モードランプを無点灯の状態 にすると、カーソルキー、機能キー (BS, Del, Ins、 BS) が有効になります。

可能な制御キーは , , , , HOME, END, INS, PgUp, PgDn, DEL,BS



## 保証規定

---

---

1. キーボード本体の保証については、別紙サンワサプライ株式会社の「プログラマブルテンキー取扱説明書」をお読み下さい。

開発・販売取次ぎ店：NPO法人PICO

所在地 〒470-0114 愛知県日進市南ヶ丘 1-9-6

電話 0561-72-1925

メール [info2@npo-pico.com](mailto:info2@npo-pico.com)

H P <https://www.npo-pico.com>

---

---

2021.02現在

## [ 参考 ]

### OTG機能とは、OTG機能があるかの確認方法

USB On-The-Go (OTG) とは、PC を介さずに、あるデバイスが USB 接続からデータを読み込むための標準規格です。

規格のロゴが載っているか、製品仕様一覧に記載されているはずですが。

そこで確認ができない場合は、GSMArena.com で、お使いのデバイスをチェックしてみてください。仕様リストから、「USB」の項目までスクロールダウンし、そこに「USB Host」の項目があるかどうかを確認します。

もう 1 つの方法としては、Play Store から USB OTG Checker という無料アプリをダウンロードする手があります。自分の Android がその機能に対応しているかどうかを簡単に確認できます。